三ツ又沼ビオトープ

ハンノキ通信

2020年度/第5号

ハンノキ通信 2021年3月発行
【発行・問い合わせ先】
あらかわ市民環境サポーター事務局
（国土交通省 荒川上流河川事務所 河川環境課内）
TEL ：049-220-0145　FAX ：049-247-9850
E-mail：ktr-3biotop@mlit.go.jp

荒川の豊かな自然「三ツ又沼ビオトープ」は、流域の学校や園、企業や団体などが関わることで、守られています。2020年度第5号では、近隣の小中学校等と連携して取り組む2つのプロジェクトや現地での保全管理活動の実施状況を皆さんに紹介します。

荒川の草花を育てようプロジェクト

荒川流域にもともと生育する野草「荒川の草花」がたくさん見られる原風景を再生するために、草花を育てて増やす取組みが進められています。

上尾市立富士見小学校

上尾市立平方北小学校

学校で収穫した“たね”について説明し、たねをお返しする児童

オンラインでたねのお返し式を開催

今年度も学校で育てた荒川の草花から児童がたねを収穫してくれました。コロナ禍ということで、たねのお返し式をオンラインで行いました。2月17日（水）に上尾市立富士見小学校の環境栽培委員会から、3月3日（水）に上尾市立平方北小学校の環境委員会から収穫したたねの報告がありました。たねは後日事務局宛にお送りいただきます。みなさんからお返ししてもらった“たね”は、今後の自然を守る活動に活用していきます。

今年度も荒川の草花を育てようプロジェクトに
ご参加いただきありがとうございます。
（五十音順）
上尾市立大石北小学校、上尾市立太平中学校、
上尾市立平方北小学校、上尾市立富士見小学校、
川島町立つばさ南小学校、しののめキッズパーク保育園

荒川ハンノキ・プロジェクト

三ツ又沼ビオトープでは、これまで荒川ハンノキプロジェクトの一環で、近隣の小中学校と連携して、埼玉県の蝶である「ミドリシジミ」が舞うハンノキ林の再生に取り組んできました。今では、三ツ又沼のそばに高さ10mほどのハンノキの林ができつつあります。

上尾市立太平中学校

太平中学校科学部の生徒が育てた
ハンノキ

植栽したハンノキの今

昨年12月に太平中学校科学部の生徒が、三ツ又沼ビオトープに植え戻したハンノキの株が生育しています。冬になり葉は落としていますが、枝には冬芽がついており、春になったら新芽がでてくることが期待されます。

パートナーシップにより進められる三ツ又沼ビオトープの保全管理

しののめキッズパーク保育園

しののめキッズパーク保育園職員の皆さん

地域の自然を学ぶ研修会を開催

2月27日（土）、園庭ビオトープで荒川の草花を育てている、しののめキッズパーク保育園（上尾市）の職員の皆さんが、三ツ又沼ビオトープを見学しました。園庭ビオトープで育てているユウガギクなどから収穫した“たね”を実際に播く場所を見学したり、カヤネズミの巣やミドリシジミの卵など、冬の時期でも見られる自然を観察しました。

ハンノキとミドリシジミの関係についての話に耳を傾ける職員の皆さん

湿地の草花であるノウルシの芽生えを観察しました。

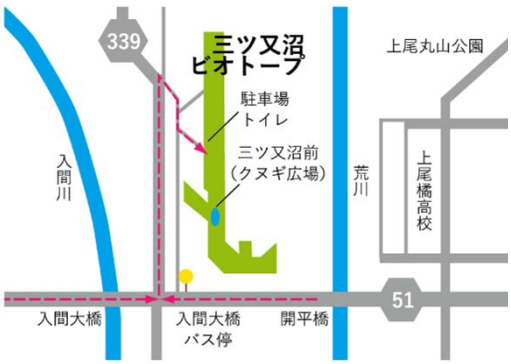
三ツ又沼では大きな二枚貝（ドブガイ）が見られました。

刈り取ったヨシの運び出しを行いました。

ヨシの片付けを行いました。

湿地の希少植物であるエキサイゼリやハナムグラを保全するための活動として、今年度も環境団体を中心にヨシ刈り等が行われました。27日（土）、しののめキッズパーク保育園の職員の皆さんにも、環境団体の活動のお手伝いをしていただきました。春先に地表面に日の光があたるように、刈り取られたヨシを運び出しました。ヨシ原の地表面に積まれたヨシがかなり片付いたので、春に湿地の植物の芽生えが期待されます。

アクセス



荒川の自然を守るボランティア募集

外来植物の除去などビオトープの自然を守る活動を行います。活動を通して、荒川の自然や生きものに触れ合えます。荒川の貴重な自然が残る「三ツ又沼ビオトープ」を共に守り育てましょう！

※三ツ又沼ビオトープでの保全活動に3回以上参加すると、「あらかわ市民サブ環境サポーター」（荒川上流河川事務所内のサポーター事務局にて登録）に申請できます。サブサポーターになると、小中学生等の環境学習や企業の社会貢献活動を行う際のサポートや、ビオトープの今後の保全管理について話し合うミーティングに参加できます。三ツ又沼ビオトープの保全管理に、より主体的に関わりたい方はぜひ、サブサポーターに申請をお願いします。